

## 脈動

著者名： 今野 敏  
出版社： KADOKAWA

「警視庁本部が患っているということですか？」  
警察官による暴力や淫らな行為——警視庁内で非違行為が相次ぐ。常時ではあり得ない不祥事の原因とは？ 事態の悪化をおそれた警視庁生活安全部少年事件課の巡査部長・富野輝彦は旧知のお祓い師・鬼龍光一を呼び出す。その結果、警視庁を守る結界が破られており、このままでは警察組織は崩壊するという。一方、富野は小松川署で傷害事件を起こした少年の送検に立ち合い、半グレ集団による少女売春の情報をつかむ。一見無関係なふたつの出来事は、やがて奇妙に絡み合う……。

## ハンチバック



著者名： 市川 沙央  
出版社： 文藝春秋

「本を読むたび背骨は曲がり肺を潰し喉に孔を穿ち歩いては頭をぶつけ、私の身体は生きるために壊れてきた。」  
井沢釈華の背骨は、右肺を押し潰すかたちで極度に湾曲している。  
両親が遺したグループホームの十畳の自室から釈華は、あらゆる言葉を送りだす——。

## 香港警察東京分室 (直木賞候補作)

著者名： 月村 了衛  
出版社： 小学館

テロリストを追え！ 圧巻の国際警察小説。  
香港国家安全維持法成立以来、日本に流入する犯罪者は増加傾向にある。国際犯罪に対応すべく日本と中国の警察が協力する——インターポールの仲介で締結された「継続的捜査協力に関する覚書」のもと警視庁に設立されたのが「特殊共助係」だ。だが警察内部では各署の厄介者を集め香港側の接待役をさせるものとされ、「香港警察東京分室」と揶揄されていた。アクションあり、頭脳戦あり、個性豊かなキャラクターが躍動する警察群像エンタテイメント！

## ガラスの海を渡る舟

著者名： 寺地 はるな  
出版社： PHP研究所

大阪の心斎橋からほど近いエリアにある「空堀商店街」。そこには、兄妹二人が営むガラス工房があった。兄の道は幼い頃から落ち着きがなく、コミュニケーションが苦手で、「みんな」に協調したり、他人の気持ちに共感したりすることができない。妹の羽衣子は、道とは対照的に、コミュニケーションが得意で何事もそつなくこなせるが、突出した「何か」がなく、自分の個性を見つけられずにいる。正反対の性格である二人は互いに苦手意識を抱いていて、祖父の遺言で共に工房を引き継ぐことになってからも、衝突が絶えなかった。そんなガラス工房に、ある客からの変わった依頼が舞い込む。それは、「ガラスの骨壺が欲しい」というもので——。

## 夜果つるところ (よるはつるところ)

著者名： 恩田 陸  
出版社： 集英社

執筆期間15年のミステリ・ロマン大作『鈍色幻視行』の核となる小説、完全単行本化。  
遊廓「墜月荘」で暮らす「私」には、三人の母がいる。孔雀の声を真似し、日がな鳥籠を眺める産みの母・和江。身の回りのことを教えてくれる育ての母・莢子。表情に乏しく、置き物のように帳場に立つ名義上の母・文子。ある時、「私」は館に出入りする男たちの宴会に迷い込む。着流しの笹野、背広を着た子爵、軍服の久我原。なぜか彼らに近しさを感じる「私」。だがそれは、夥しい血が流れる惨劇の始まりで……。  
『鈍色幻視行』の登場人物たちの心を捉えて離さない、美しくも惨烈な幻想譚。

## 極楽征夷大將軍



著者名： 垣根 涼介  
出版社： 文藝春秋

やる気なし。使命感なし。執着なし  
なぜこんな人間が天下を獲れてしまったのか？  
動乱前夜、北条家の独裁政権が続いて、鎌倉府の信用は地に墮ちていた。足利直義は、怠惰な兄・尊氏を常に励まし、幕府の肅清から足利家を守ろうとする。やがて後醍醐天皇から北条家討伐の勅命が下り、一族を挙げて反旗を翻した。一方、足利家の重臣・高師直は倒幕後、朝廷の世が来たことに愕然とする。後醍醐天皇には、武士に政権を委ねるつもりなどなかったのだ。怒り狂う直義と共に、尊氏を抜きにして新生幕府の樹立を画策し始める。

## コメンテーター

著者名： 奥田 英朗  
出版社： 文藝春秋

直木賞受賞、累計290万部の人気の伊良部シリーズ17年ぶりに復活！  
低視聴率にあえぐワイドショーのスタッフの圭介は、母校のついでで美人精神科医をコメンテーターとしてスカウトしようとする。が、行き違いから伊良部とマユミが出演することに。案の定、ふたりは放送事故寸前のコメントを連発するが、それは暴言か、はたまた金言か！？

## 縁切り上等！

離婚弁護士 松岡紬の事件ファイル  
著者名： 新川 帆立  
出版社：

最良の離婚、請け負います！ 家族はもっと、いろいろな形があっていい。新時代のリーガル・エンタメ。夫のモラハラと浮気に耐えられなくなり家を飛び出した聡美が北鎌倉で出会ったのは、縁切寺の娘で弁護士の松岡紬。勢い込んで離婚相談をするも、思いがけないことを言われ……。上手に縁を切る方法、教えます。温かなヒューマンドラマにして、前を向く元気をもらえる、痛快リーガル小説。